

テーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。』

以上のような所信のもと、世界の、日本の、そして地区も活動をしてきた訳ですが、安間ガバナーは、これを以下のようにまとめました。

1. ロータリーを成長させる

奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させることより多くのことを達成するため会員を増やしましょう。

2. 家族（ロータリーファミリー）の重要性を強調

ローターアクト、インターアクト、学友、会員の家族や友人、プログラム・奉仕活動の参加者は皆ロータリーファミリーです。

3. 内部組織の変革

クラブのあり方をより柔軟的にし、より多様な会員に魅力を感じてもらい積極的な参加を促しましょう。

4. 国連との連携

ロータリーと国連との、人道的な課題に取り組むための平和会議が今後各地で開催されます。

以上ですが、安間ガバナーはさらに各クラブごとに戦略計画を立て、毎年それを改定するための戦略委員会を編成するように言っております。そこで当クラブも、クラブテーマを中心に、R Iの4つの戦略計画に対応する事項をまとめた戦略計画を策定いたしました。

下期も馬場幹事と共に頑張りますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

副会長 横山貞治

7月に始まった2019-2020年度も、今回の例会で半分の折り返しとなりました。山口会長・馬場幹事大変ご苦労様です。



副会長の役目の一つに、会長・幹事の補佐をすることがあります。『ロータリーは地域をつなぐ』のテーマに沿って、山口会長が近隣クラブとの連携はじめ素晴らしいクラブ運営をされているのを見て、感心するばかりです。何も補佐することなく副会長としての役目を果たすことが出来ず申し訳なく思います。

二つ目の役目は、クラブ管理・運営委員長としての役割です。プログラムについては影島委員長に担当していただき、また遠藤親睦・出席委員長を中心に、例会の受付、前年度会長幹事慰労会、忘年家族会、ゴルフコンペなど、楽しく素晴らしい企画を立てて運営していただきました。どうもありがとうございます。

先日、ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)に参加させていただきましたのでその話をしたいと思います。

参加者は2620地区の次年度の会長・幹事が主な対象者で、84名の出席がありました。この研究会の目標は、参加者が今まで以上にロータリー活動に前向きに取り組み、自分自身を高めリーダーシップを発揮して、クラブ全体をレベルアップさせることです。その内容としては、大きく分けてリーダーシップ、奉仕、会員組織強化という3つのテーマについて話し合うもので、具体的には次の6つのセッションがありました。

- ・リーダーシップを高めるためには
- ・ロータリーの目的とは。そのための組織は
- ・倫理・価値観と職業奉仕をどのように結びつけるか
- ・ロータリー財団の目的。その価値観はどうあるべきか
- ・クラブ会員にロータリー活動への参加を促すには
- ・奉仕プロジェクト(奉仕活動)を創造、実行するには

このような抽象的な問題から具体的な事柄まで様々なテーマを数人の小グループで、自由に話し合いをしながら、自分の考えをまとめることをしました。50分単位の6時限で午前10時から5時までのディスカッションは、学生時代の聞かだけの授業と違い疲れはしましたが、集中していたためこの50分間はあっという間に過ぎました。自分のロータリーに対する思いとか考えなどを完璧ではないにしろ整理したり、他のクラブの様子などを聞くことができて、大変参考になりました。副会長の立場としては丁度良いタイミングでした。

今後、会長・幹事になる会員は、ぜひこの研究会に出席されることをお勧めします。

この経験を活かして、山口年度の下半期に少しでもお役に立ちたいと思います。下半期も皆様のご協力をよろしくお願いします。

幹事 馬場敏彦

私は毎回の例会と行事で上期を振り返ってみました。

7月2日 初回の例会でした。2019年規定審議会において例会と出席に関する規定で、メイクアップに関する規定が改定されました。内容は「例会の定例の時の前14日または後14日の規定を同年度内に変更する」というものでした。この規定については、賛否両論ありましたが、当クラブもこれに準ずることとしました。



7月30日 沼津リバーサイドで、前会長、幹事慰労会を行いました。残念ながら、木村前会長はこの日体調調